

関東ふれあいの道 埼玉県No.5 大霧山に登るみち

報告：FT

◎期日：2024年6月9日

◎メンバー：FT (L)、SM (SL)、SS、AI、KT、TI

高原牧場入口でバスを降りると、目の前に案内標柱があった。目指す「粥新田峠」方面を確認して舗装道路を歩き始める。



バス停前の案内標柱



舗装道路を延々と歩きます

電車やバスの車窓から眺めても、歩きながら眺めても周囲は山また山である。「秩父の路は全て山の中・・・」とつぶやいて、・・・このフレーズ、どこかにあった、・・・さてどこだったか？と、殿を歩いていると、・・・前方で、皆さんスマホの地図を見ながら何やら、・・・「どうも違うようです」、「何!？」小生も地図を確認した。本来は途中から山道へ向かう道を行くはずが、そのまま舗装道路を来てしまったのだ。気がつかなかった小生のミス。しかし、このまま進んでも粥新田峠に達するので、そのまま進むことに・・・。道は穏やかで、所々にきれいな花などもあり、目を楽しませてくれるので気分は良い。



シモツケソウ

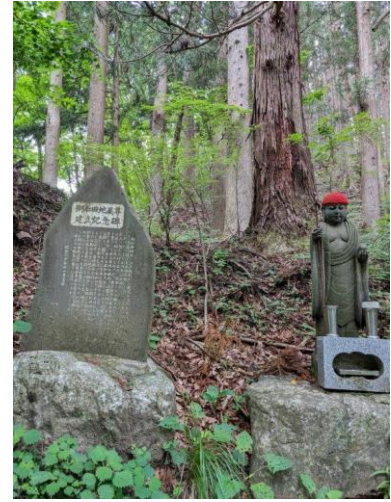


コアジサイ



クロスジモンシロチョウ

スタートして1時間20分、粥新田峠に到着。「大霧山登山口」の表示や「関東ふれあいの道」の案内板もあった。東屋があるので、計画通りここで昼食とする。



山と高原地図では「粥新田（かいにだ）峠」だが、現地の標柱は「粥仁田峠」。
東屋がありここで昼食。向かい側には「粥仁田地蔵尊」もあった。

東屋の側に「粥仁田峠」の案内板もあったので読んでみる。

曰く「江戸時代につくられた地誌によると、秩父から江戸へ出る道が三筋記されています。1つはこの粥仁田峠を越え川越へ通じる川越通りで、他は釜伏峠越えの中山通り（熊谷みち）、正丸峠越で飯能へ通じる吾野（我野）通りです。・・・この峠道もかつては、大宮郷（現在の秩父市）の市日には何百頭もの荷駄が行き交った・・・」とあった。古の峠路は荷駄の渋滞があったかも知れない、と思った。

4月に歩いた「峠の歴史をしのぶみち」でも正丸峠をはじめ、いくつもの峠を通過した。秩父盆地はどこへ行くにも峠を越えなくてはならなかったのだ、と改めて認識。・・・突然、思いだした！ あのフレーズは「木曾路は全て山の中・・・」に似ていたのだ。はるか昔、若かりし頃に読んだ「夜明け前」（島崎藤村）の書き出しの一文であった。

お腹が満足したところで大霧山を目指して登りはじめた。数十メートル先に分岐があり、右から高原牧場入口からの登山道が上がってきていた。本来はこの道を歩んで来るはずであった。

このまま大霧山を目指して樹林に囲まれた中を登って行く。30分ほどで大霧山に到着した。「100名山17座を眺望できる」とされている展望の良い山頂であるが、あいにく雲が多くあまりよく見えなかった。ご親切に山頂からの展望が描かれた絵図が設置されていた。これを見れば山座同定をしなくても山名が分かるだろう。



大霧山 山頂



山頂の展望案内

予定より早いなが長居はせず、先に進んだ。30分ほどで旧定峰峠に到着。

古くからの峠らしく「祠」もあったが、珍しいことに「ダイダラボッチの伝説」が掲示されていた。多くの地方に「ダイダラボッチ・巨人がその地の山や湖沼などを造った、関わった」等の伝説があるそうだが、秩父の伝説ははじめて知った。SSさんが大きな声でこれを読み上げてくれた。読み上げ方がとても上手で、しかも面白かったのが皆さんニコニコとスタートした。



旧定峰峠。祠もある。



ダイダラボッチの伝説 掲示

粥新田峠を出てから登ったり下ったりを何度も繰り返しているが、皆さんなかなか元気だ。車・バイクの音が近くなると、間もなく定峰峠に到着した。ここにはトイレや売店もあるのでしばし休憩。

白石峠は時間の関係でカットする計画であったので、あとはバス停の白石車庫へ40分ほど下るのみ。予定のバスは16:15発、時間はたっぷり余裕があるが、・・・どうも空模様が怪しい。・・・一本前は？・・・「15:10発」。

「あと30分ほどしかない。そんなの無理では？」との声もあったが、とにかく、「行ってみよう！」と決断！ なにせここまではコースタイムより早いのだ。秋田さんを先頭に早足

で下りはじめた。殿から行くが、皆さん早いこと、早いこと・・・。

最後は全員が一団となって、「間に合った！」と笑顔でバス停に到着。定峰峠より 23 分であった。雨にも降られず、まだ 15 時過ぎで十分に余裕があった。それにしても 6 名中、5 名が後期高齢者で最高齢は 83 歳、というパーティであったが、皆さん随分と足が強かった。

このコースは所用時間、距離、標高差、眺望、歴史を感じさせる峠等々、高齢者にも良いハイキングコースだと思う。見晴らしの良い日に、改めて大霧山からの展望を見にやってきたいと思った。

<コースタイム>

高原牧場入口 10:31→粥新田峠（東屋・大霧山登山口） 11:58-12:21

→高原牧場入口方面との分岐→大霧山 12:52-13:08→旧定峰峠 13:37-13:44

→定峰峠 14:28-14:39→白石車庫 15:02

所要時間=4:32, 休憩=58 分, 距離=9.7km,

のぼり=780m, 下り=656m

■旧定峰峠に掲示されていたダイダラボッチの伝説（環境庁・埼玉県）

ダイダラボッチの伝説

昔、武蔵野に大太坊という巨人がいて羽黒山に行く途中、秩父の山にさしかかりその時、巨人は定峰峠*に腰をかけ、かぶっていた笠を笠山の頂きにおき、両足をニューと伸ばし、槻川のあたりに足をつき、粥仁田峠で粥を煮て昼食をとりました。食べ終わって粥を煮た釜を伏せたのが釜伏山、二本の箸を立てたところが二本木峠、腰を下ろしてた石が休石、また荒川の水を含んで吹いたのが大霧山、大太坊の足跡は今でも槻川上流白石の山中に、くぼ地や沼として残っているそうです。

（*現在の旧定峰峠）